

2019年度事業報告について

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

1. 大同生命地域研究賞

(定款第4条第1号に該当)

大同生命地域研究賞は、地球的規模における地域の総合的研究の一層の発展を支援することを目的として、1986年に創設された。

本財団の設立目的である国際相互理解の向上にあたり、地域研究が指向する目的と基本において一致することから、この賞を設け、学会関係者の指導、協力を得て主宰してきた。

(1) 第34回 大同生命地域研究賞の贈呈

推薦書受付、選考委員会ならびに贈呈式の開催状況は以下のとおり。

1) 推薦書受付

- ①推薦委員数：80名(2019年3月末)
- ②推薦期間：2月14日～4月30日
- ③受付件数：32件(研究賞6件、奨励賞21件、特別賞5件)

2) 選考委員会

- ①開催日時：2019年5月28日(火)
- ②開催場所：クラブ関西(大阪)
- ③出席委員：井上 真 氏(早稲田大学 人間科学学術院 教授)
印東 道子 氏(国立民族学博物館 名誉教授)
臼杵 陽 氏(日本女子大学文学部 教授、同図書館
館長)(委員長)
小長谷 有紀 氏(独立行政法人日本学術振興会 監事)
松田 素二 氏(京都大学大学院文学研究科 教授)

④受賞者：以下のとおり。

- 大同生命地域研究賞(副賞 300万円)

「ベンガル湾海域文明圏の史学的研究」に対して

追手門学院大学 名誉教授

重松 伸司 氏

○大同生命地域研究奨励賞（副賞 100万円）

- ・「タイなどの都市住民の生活とインフォーマル経済の研究」
に対して
埼玉大学大学院 人文社会科学部 准教授 遠藤 環 氏
- ・「東アフリカ牧畜地域の紛争と平和に関する研究」に対して
慶應義塾大学文学部 准教授 佐川 徹 氏
- ・「ネパール、ヒマラヤ地域における規範と行為の関
近代的変容に関する研究」に対して
東京大学 東洋文化研究所 教授 名和 克郎 氏

○大同生命地域研究特別賞（副賞 100万円）

- 「カンボジアにおける教育支援活動への貢献」に対して
プノンペン王立大学 言語学部教授 諏訪井 セタリン 氏

3) 贈呈式

- ①開催日時：2019年7月19日（金）
- ②開催場所：クラブ関西（大阪）
- ③参加人数：90名

(2)大同生命地域研究賞フォーラムの開催

受賞者の研究成果の披露および賞の知名度の一層の向上等を兼ねた報道、出版関係者向けのフォーラムを2012年から実施している。

2019年度は第34回の地域研究特別賞の受賞者を講師に以下のとおり開催した。なお、2020年3月3日(火)に開催を予定していた2019年度2回目のフォーラムは、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、中止した。

[場所：大同生命大阪本社 会議室]

開催日	講師	テーマ
2019年 10月24日(木)	諏訪井 セタリン 氏 (地域研究特別賞)	「カンボジアと日本／過去と未来 ～元国費留学生在語る最前線～」

2. 翻訳出版

(定款第4条第2号に該当)

(1) アジア諸国の現代文芸作品の日本語翻訳出版

<「アジアの現代文芸」シリーズ>

当年度の発行図書は次のとおりである。これにより対象国は13カ国、出版点数は74点となった。

・No.73 イラン ① (イラン作品として初めての翻訳出版)

(書名) 『復活祭前日』

発表年 1998年

著者 ゴヤ・ピールザード (1952～)

訳者 藤元 優子

・No.74 バングラデシュ ③

(書名) 『地獄で温かい』～バングラデシュ短編選集～

発表年 1989年

著者 アクタルツジャマン・イリアス (1943～1997)

ハッサン・アジズル・ホク (1939～)

セリナ・フセイン (1947～)

訳者 丹羽 京子

※「地獄で温かい」は、紙ベースとあわせて電子書籍で発刊。電子書籍の出版点数は、計51点。

【参考】電子書籍サイトのアクセス数 (件)

サイト名	2017年度	2018年度	2019年度	平均/日
アジアの現代文芸	5,532	7,821	8,023	(21.9)
電子図書館	1,979	2,266	3,849	(10.5)
【ダウンロード数】	964	873	2,437	(6.6)

(2) アジア各国語への翻訳出版<「ジャパニーズ・ミラーズ」シリーズ>

当年度の発行図書は次のとおりである。これにより対象国は8カ国、出版点数は45点となった。

・No.45 ミャンマー語 ⑧

(書名) 『福沢諭吉』

著者 浜野 卓也

訳者 ナン・ミヤ・ケー・カイン

3. 教育支援

(定款第4条第4号に該当)

勉学環境に恵まれない東南アジアの生徒のために、次の支援を実施した。

① ラオス：

- ・ 3校（シビレイ小学校、ウンパウン小学校、ドンカンクー小学校）に
 図書を寄贈。

＊ 3校は当財団が建設した学校

② カンボジア：

- ・ 3校（オーニョ小学校、プアーク中学校、トノルバンベーク小学校）に
 図書を寄贈。

＊ 3校は当財団が建設した学校

③ ミャンマー：

- ・ 3寺子屋（ピンレーブ、ミガダーウォン、ナツマウツ）に学用品（ノー
 ト、鉛筆、ボールペン、ホワイトボード）を寄贈。

＊ 3寺子屋は当財団が建設した学校

以 上

「附属明細書」について

2019年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

以 上